



ウポポイ  
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK  
民族共生象徴空間

令和7年4月1日  
留萌開発建設部

## 令和7年度北海道開発事業費 (留萌開発建設部実施分)の概要について

令和7年度北海道開発事業費（留萌開発建設部実施分）について、別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部

全体	広報官	石井 義人	(電話 0164-42-2393)
治水関係	治水課長	旭 峰雄	(電話 0164-43-5515)
道路関係	道路計画課長	葛西 敏行	(電話 0164-42-4526)
港湾・水産関係	築港課長	斉藤 真樹	(電話 0164-42-4816)
農業関係	農業開発課長	工藤 幸大	(電話 0164-42-2351)

留萌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>  
公式X(旧Twitter)アカウント @mlit\_hkd\_rm



令和7年度

## 北海道開発事業費の概要

令和7年4月

留萌開発建設部

## 令和7年度 留萌開発建設部事業費総括表

(事業費)

(単位：百万円)

事 項	予 算 額	備 考
治 水	2,424	
道 路	7,983	
港 湾 整 備	1,147	
都 市 水 環 境 整 備	17	
農 業 農 村 整 備	1,192	
水 産 基 盤 整 備	721	
合 計	13,483	

注) 1 農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない。

2 四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

# 治 水 事 業

令和7年度は、気候変動による水災害の激甚化・頻発化に対応するため、第9期北海道総合開発計画の主要施策に基づき、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を着実に推進するとともに、あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」等の考え方に則って、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速化する。また、予防保全型インフラメンテナンスへの転換を図るため、河川管理施設について、早期に対策が必要な施設の修繕等を実施する。

## 【河川改修】

### 天塩川下流

天塩川は我が国の最北を流れる大河川で、北見山地の天塩岳を源とする幹川流路延長256km、流域面積5,590km<sup>2</sup>の一級河川です。

天塩川下流においては、「天塩川水系河川整備計画」に基づき、河道掘削、堤防整備等を実施します。



河道掘削(天塩川)

### 留萌川

留萌川は、低い山地に囲まれた細長い低平地を蛇行しながら留萌市街地から日本海に注ぐ、幹川流路延長44km、流域面積270km<sup>2</sup>の一級河川です。

留萌川においては、「留萌川水系河川整備計画」に基づき、河道掘削、導流堤改築等を実施します。



導流堤改築(留萌川)

## 【河川維持修繕】

### 天塩川下流・留萌川

安全・安心な河川の機能維持のため、堤防除草や河川巡視・堤防点検を行います。

また、既存施設が機能発揮するように、必要な河川管理施設の補修・設備の更新、老朽化対策を行うなど、コスト縮減に努めつつ、適切な河川の維持管理を実施します。



堤防除草(留萌川)

## 【堰堤維持】

### 留萌ダム

留萌ダムは、一級河川留萌川水系チバベリ川に建設された洪水調節、流水の正常な機能の維持、留萌市への水道用水の補給を目的とした多目的ダムで、堤高41.2m、堤頂長440m、総貯水容量23,300千m<sup>3</sup>のロックフィルダムです。

適切なダム管理のため管理施設の点検整備や流木処理、管理用水力発電設備の安全で効率的な運用を実施します。

また、利水者と連携した洪水調節機能の強化を引き続き実施します。



留萌ダム

# 道 路 事 業

## <基本方針>

北海道開発については、「第9期北海道総合開発計画」（令和6年3月12日閣議決定）において、従来の北海道の強みである「食」と「観光」を一層強化するとともに、再生可能エネルギーのポテンシャルによる「脱炭素化」を新たな価値と位置付け、豊かな北海道を実現し我が国の経済安全保障に貢献することを目指し、北海道の価値を生み出す生産空間の維持・発展を図ることとしています。

具体的な取組としては、気候変動による激甚化・頻発化する水災害や巨大地震等の大規模災害、インフラの老朽化の現状等を踏まえ、「生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり」に向けて、災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化、無電柱化、社会経済活動を支える道路施設の老朽化対策、交通安全対策、i-Snow等のインフラ分野のDX化による現場の生産性・効率性の向上を推進します。

また、国内外の新たな観光需要を取り込むためには、地域資源を活かした多様な観光メニューのより一層の充実が必要です。このため、多様な機関との連携のもと、「多様で豊かな地域社会の形成」及び「観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり」に向け、「道の駅」第3ステージの推進、「シーニックバイウェイ北海道」、サイクルツーリズム等を推進します。

## <事業内容>

### 1 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

#### (1) 災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化

地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、緊急輸送道路上の道路斜面や盛土等の防災対策を推進するとともに、ICTを活用した施工の効率化等を推進します。

また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」（令和2年12月11日閣議決定）を踏まえ、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム（北海道ブロック版）」を令和3年4月に策定し、耐災害性強化や災害時におけるネットワーク確保のための取組を重点的かつ集中的に推進します。



道路の防災対策（霧立防災）

国道40号 天塩防災

国道232号 小平防災  
道路斜面の防災対策

国道239号 霧立防災



位置情報で管理された  
高所法面掘削機による施工



道路斜面の防災対策（ICT施工の導入）  
（苫前町力屋）

#### (2) 防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から実施している電柱の新設抑制及び無電柱について、低コスト技術等を積極的に導入しつつ、事業の推進を図ります。

国道231号 留萌電線共同溝【令和7年度新規事業化】

### (3) 社会経済活動を支える道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。

国道40号

国道231号

国道232号

国道233号

国道239号

**E62** 深川・留萌自動車道

橋梁・舗装修繕ほか



橋梁点検（国道232号旭橋）



橋梁修繕（国道231号港栄橋）

### (4) 冬期交通の確保

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、国道における防雪対策、防災訓練や住民の意識啓発等を推進し、気象状況や交通状況等を踏まえて適宜適切な除排雪作業を実施します。また、数年に一度の猛ふぶき等が予想される場合は、車両の大規模な立ち往生の発生による通行止めの長期化を防ぐため早い段階で躊躇のない通行止めを実施し、通行止め実施後は、集中的な除雪により早期の交通解放を行うことで、住民生活や社会経済活動への影響を少なくすることを目指します。



冬期交通の確保（国道除雪）

国道232号 防雪対策

### (5) 交通安全対策の推進

事故多発区間での事故データを用いた分析やビッグデータを活用した潜在的危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン」※を推進するとともに、自転車事故の危険性が高い区間については、自転車走行空間整備を計画的に推進します。

また、通学路や未就学児の移動経路において、子供の安全な通行を確保するための対策を関係機関と連携して推進します。



交通安全対策（交差点改良）

※事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組

国道232号 大沢路肩改良【令和7年度新規事業化】  
南大通5丁目交差点改良【令和7年度新規事業化】

## (6) 「道の駅」の防災拠点化

近年、激甚化・頻発化する自然災害に備え、各地で広域的な復旧・復興活動の拠点整備が進められており、地域防災計画に位置付けられた「道の駅」において、地域の防災力向上に資する防災拠点の整備や機能向上を図っています。

### 【防災拠点としての機能強化】



道の駅での防災訓練の様子

## 2 多様で豊かな地域社会の形成

### 「道の駅」第3ステージの推進

「道の駅」を拠点とした交通結節機能の強化や子育て環境の創出、情報提供の多言語化の取組を推進します。

### 【インバウンド受入環境の構築】

#### 外国人観光案内所



道の駅「るもい」

道の駅「てしお」

### 【子育て応援施設の整備】



授乳室

おむつ自販機

妊婦向け屋根付き優先駐車スペース

令和5年4月にリニューアルオープンした道の駅「風Wとままえ」の子育て応援施設

## 3 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

### (1) 「シーニックバイウェイ北海道」の推進

「シーニックバイウェイ北海道」は、みちをきっかけに地域と行政が連携し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行う取組です。

留萌管内で活動する「萌える天北オロロンルート」と協働でサイクリスト応援カープロジェクトや道路景観プロジェクトに取り組みます。

### 【サイクリスト応援カープロジェクト】



安心してサイクリングを満喫いただけるよう、道路・河川巡回企業のパトロールカーを「サイクリスト応援カー」として任命。巡回車に自転車用工具を搭載し、トラブル時に工具を貸与し、サイクルルートの安全・安心の下支えをする取組

### 【道路景観プロジェクト】



国道232号沿線の自生種であるエゾカンゾウの保全に地域協働で取り組み、留萌らしい道路景観の形成を目指す活動

### (2) サイクルツーリズムの推進

増毛町から天塩町の8市町村を結ぶ全長約145kmに及ぶ「オロロンライン・サイクルルート」において、安全で快適な自転車走行環境の改善を推進するほか、サイクリストの受入環境の充実、情報発信及び地域独自の取組など、官民一体で自転車の利用環境向上の取組を推進します。



日本海とサイクリスト  
(国道232号小平町)

矢羽根型路面表示  
(国道231号増毛町)

## 令和7年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。  
主な調査箇所は、下記の通りです。

### 【主な調査箇所】

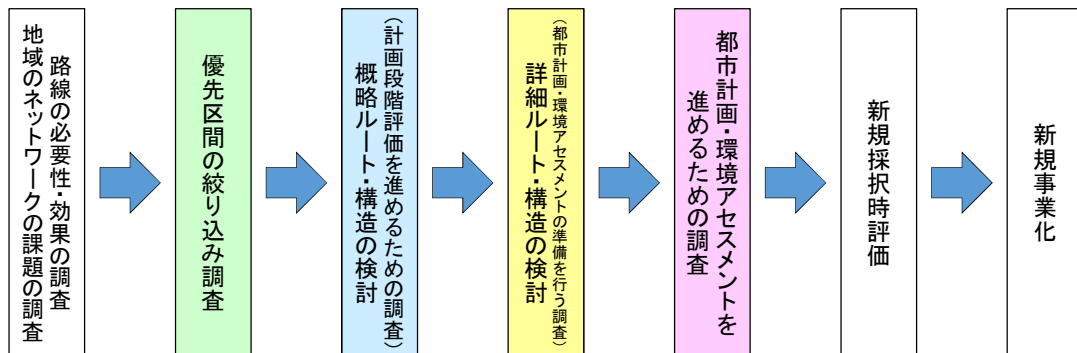
概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

北海道縦貫自動車道 なかがわ てしお 中川～天塩

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

### <道路調査の流れ>





# 港 湾 整 備 事 業

## 【港湾改修事業】

### 重要港湾 留萌港

[外港地区]

物流の効率化を図るため、時化時の港内静穏度向上を目指した防災・減災対策として南防波堤の整備を進めます。



南防波堤の本体工コンクリート打設状況

### 地方港湾 増毛港

[本港地区]

高波による利用障害を解消するため、港湾利用の安全性向上を目指した防災・減災対策として北防波護岸の整備を進めます。



北防波護岸の消波ブロック据付状況

### 地方港湾 羽幌港

[本港地区]

小型船の輻輳や狭隘を解消し、荷役の効率化を図るため、水深4m物揚場の整備を進めます。

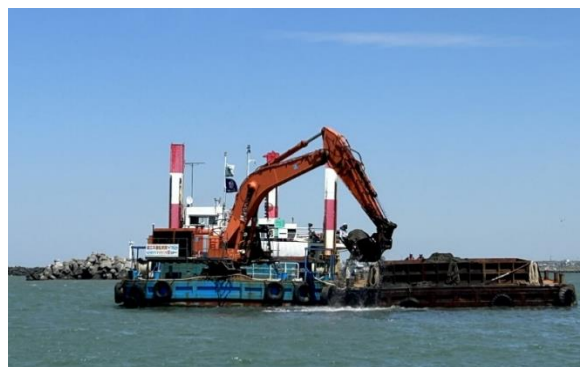


水深4m物揚場の本体工据付状況

### 地方港湾 天塩港

[本港地区]

船舶の安全な航行及び操船を確保するため、水深6m航路の浚渫を進めます。



水深6m航路の浚渫状況

# 都市水環境整備事業

## 【総合水系環境整備事業】

天塩川下流では、自然再生事業による汽水環境の再生状況をモニタリングするとともに、天塩町の「天塩かわまちづくり」計画と連携した水辺整備のフォローアップを実施します。



天塩川 モニタリング調査



オオワシ(天塩川にて撮影)



天塩川河川公園の水辺整備箇所



天塩川河川公園の水辺整備箇所  
(天塩川じじまつりでの利用)

川の自然環境や景観、水辺の活動、川に関する情報を効果的に発信すると共に地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、公共施設見学ツアーの実施等により水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進します。



天塩川 ダウン・ザ・テッシでの利用状況  
(新問寒別カヌーポート箇所)



# 農業農村整備事業

留萌管内の農業は、地域特性を活かし、酪農、畑作及び水田と多種多様な農業が営まれ、生産の安定を目指した事業を行っています。

## 実施地区

### 【国営総合農地防災事業】

産土地区（受益面積 2,289ha）

泥炭土に起因した地盤沈下により機能低下が生じた農業用排水路及び農用地の機能を回復するため、国営総合農地防災事業「産土地区」の整備を進めます。  
（排水路12条、暗渠排水等2,289ha）



産土地区の暗渠排水施工状況

# 水産基盤整備事業

## 【特定漁港漁場整備事業】

留萌管内の第3種及び第4種漁港は、日本海有数の好漁場である武蔵堆の近傍に位置し、刺網やエビ籠などの地域沿岸漁業、周辺海域で操業する道内外からのイカ釣り漁業の生産・流通拠点として重要な役割を担っています。また、道内はもとより国内へのホタテ種苗の供給や韓国等で高い需要のある活ホタテガイ輸出など、我が国の水産業の競争力強化に貢献しています。

このことを踏まえ、2025（令和7）年度は「水産業の成長産業化に向けた拠点機能強化対策」及び「持続可能な漁業生産を確保するための漁港施設の強靱化・長寿命化対策」を重点的に推進します。

### 苫前地区（第3種）

流通体制の効率化に向けた漁港機能再編・集約するための新埠頭（防波堤等）の整備に向けた調査・設計を行います。

### 遠別地区（第4種）

漁業活動の安全性を確保するための防波堤の整備を行います。

- ・外郭施設：南防波堤（改良）



南防波堤水中コンクリート打設状況

### 留萌管内地区

漁港施設の長寿命化を図るため、遠別漁港・苫前漁港・雄冬漁港において防波堤等の補修を行います。

#### 遠別漁港

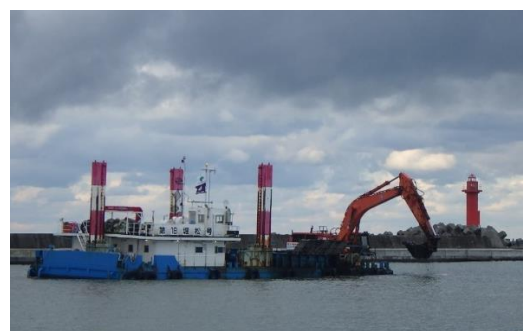
- ・水域施設：水深3.5m航路（補修）
- ・水域施設：水深3.5m泊地（補修）

#### 苫前漁港

- ・外郭施設：北防波堤（補修）
- ・水域施設：水深4.5m航路（補修）

#### 雄冬漁港

- ・外郭施設：島防波堤（補修）
- ・係留施設：水深2.5m物揚場（補修）



苫前漁港 航路浚渫状況